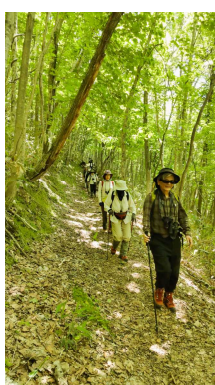


2025(令和7年)度「観察交流会in登別・橘湖&キウシト湿原」の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

会 場	観察交流会in登別・橘湖・amカルルス温泉～橘湖（湖畔周回）、pmキウシト湿原	
開催日時	2025（令和7）年6月10（火）9:00-15:45	
天 候	快晴、微風、朝のうち霧 日最高気温24.9℃ 日最低10.3℃ （アメダス登別）	
参加状況	会員8人+キウシトのお仲間＝総勢9人 下見、延2人	
観察記録 主なもの （午前）	草 本	イケマ、オオタネツケバナ、オクエゾサイシン、カキドウシ、クマイザサ、クルマバソウ、コウライテンナンショウ、サルメンエビネ、ジャニンジン、ズダヤクシュ、タニギキョウ、ニシキゴロモ、チシマザサ、ハンゴンソウ、ビロウドモウズイカ、フデリンドウ、ミツバ、ミツバツチグリ、ミヤコザサ、斑入りミヤマスマレ、ヤマハタザオ、
	木 本	イタチハギ、イワガラミ、ウスノキ、オオカメノキ、ツルアジサイ、ハナヒリコキ、ヒロハハリブキ、フッキソウ、ホオノキ、
	野 鳥	アカゲラ、シジュウカラ、センダイムシクイ、ツツドリ、＊鳴き声を含む
	昆 虫	アカハネムシ、エゾハルゼミ、カラフトモモブトバチ、クモガタガガンボ、シャクガの幼虫、ミヤマカラスアゲハ、
	シダ他	オシャグジデンダ、ジャゴケ、ジュウモンジシダ、トラノオシダ、ミヤマワラビ、
	その他	＊ハリガネムシ、シマヘビ、ニホンカナヘビ、タヌキの溜糞、エゾシカのヌタバ、
観察記録 主なもの （午後）	草 本	アオモリアザミ、ウロコミズゴケ、エゾナミキ、エゾミソハギ、エゾリンドウ、オオバナノエンレイソウ、オオハンゴンソウ、オオミズゴケ、オトギリソウ、オニシモツケ、カキツバタ、カサスゲ、ガマ、キショウブ、ギョウジャニンニク、クサレダマ、コウヤワラビ、コバギボウシ、コメツブウマゴヤシ、ショウブ、シロネ、シロバナカモメヅル、タニヘゴ、チゴユリ、ツボスマレ、ツルニンジン、ナガホノワレモコウ、ニワゼキショウ、バイケイソウ、ハンゴンソウ、ヒツジグサ、ヒルムシロ、フトヒルムシロ、ミズオトギリ、ミズバショウの群生、ミゾソバ、モウセンゴケ、ヤナギトラノオ、ワラミズゴケ、
	木 本	イヌコリヤナギ、カンボク、キハダ、ズミ、ツタウルシ、ノリウツギ、ヤチハンノキ、ヤチヤナギ、
	野 鳥	オオジシギ、オオヨシキリ、 ※保全エリアでは、クイナも営巣中とのこと
	昆 虫	イトトンボの仲間（アオイトトンボ、モノサシトンボ）、シャクガの幼虫・中空糸
	シダ他	ヒメシダ、ミヤマベニシダ、ヤマドリゼンマイ、
	その他	オカモノアラガイ
感想など	・朝霧が晴れ渡り、神秘的な湖・橘湖はエメラルドグリーンに輝いていた。 ・見落としがちな植物も、たくさんの目で、新たな発見と感動に笑顔が広がった。 ・概ね、計画日程に沿って午前、午後とも充実した観察交流会となった。 ・スズメバチ似の”ハバチ”の仲間が肩口に取り憑いた時は、一瞬凍り付いた。 ・キウシト湿原では、スペシャルガイドの案内で、隅々まで観察を楽しんだ。 ・文字どおり、未の刻に「ヒツジグサ」を観察。希少なミズゴケ類の保全に尽力！ ・名湯で山行の汗を流し、リフレッシュ。オプションの絶品パンも無事ゲット。	



写真／左・中：橘湖、右：キウシト湿原にて
（記録：am細川 望、pm吉田京子、及び事務局）



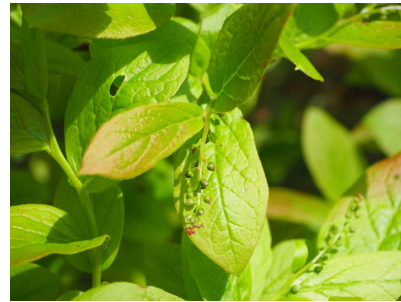
神秘の湖「橋湖」、一周 1.5kmの対岸から、岸辺で休憩する参加者を遠望



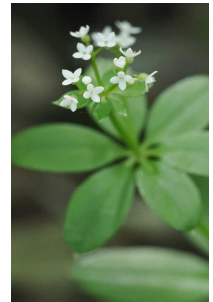
ハリブキ (つぼみ)



道中の小河川でハリガネムシ



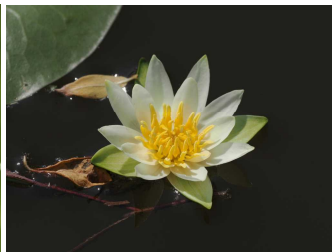
ハナヒリノキ (つぼみ)



オククルマムグラ



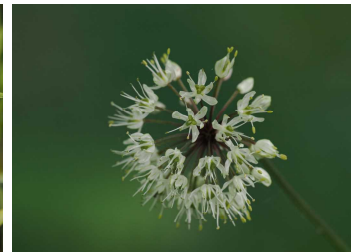
カキツバタ



ヒツジグサ



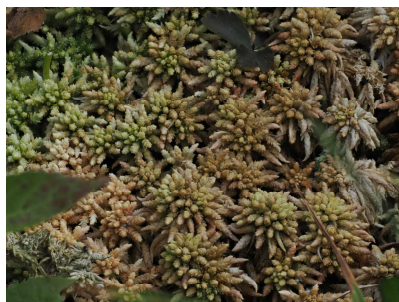
ヤナギトラノオ



ギョウジャニンニク



モウセンゴケ



ウロコミズゴケ



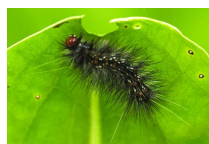
ワラミズゴケ



イトトンボの仲間



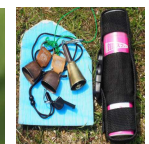
毛虫 ドクガ?



アオモリアザミ



ツボスミレ



熊対策グッズ